

Sokumon 足紋

(発行)
特定非営利活動法人
全国足紋普及協会

マスコミ報道状況

◆新聞～令和4年1月29日(土)付、朝日新聞夕刊一面
“あらかじめ「足紋」、災害に備え”との見出しで、NPO法人全国足紋普及協会が身元特定の方法として「足紋」を提唱し、普及活動に取り組んでいる旨の記事が掲載されました。



今後積極的に「足紋」普及にとめます。



◆ラジオ～令和4年11月13日(日)、MBSラジオ(大阪)

防災番組「ネットワーク1.17」に「身元特定の手帳『足紋』とは？」と題して“身元特定の科学的根拠”、“足紋普及活動に取り組んだ経緯”、“身元特定での足紋の優位性”、“足紋の採取方法”、“今後の課題”など、光眞理事がインタビューを受けた内容が放送されました。

◆ラジオ～令和4年11月13日(日)、MBSラジオ(大阪)
防災番組「ネットワーク1.17」に「身元特定の手帳『足紋』とは？」と題して“身元特定の科学的根拠”、“足紋普及活動に取り組んだ経緯”、“身元特定での足紋の優位性”、“足紋の採取方法”、“今後の課題”など、光眞理事がインタビューを受けた内容が放送されました。
放送された内容は、[YouTube](#)で聴くことができます。
「ネットワーク1.17」で検索してアクセスしてください。

会員・賛助会員募集

「全国足紋普及協会」は「無縁仏」がなくなる社会を創出することが目的です。「足紋」の普及活動について関心のある方はお気軽にご相談ください。

◆事業の種類

- ・足紋に関する理解を広く周知する広報、宣伝事業
- ・地域や自治体、防災団体等での講習会や採取会の開催による普及啓発活動
- ・足紋に関する調査研究事業
- ・足紋を採取する機器、資材及び足紋の管理システムの開発研究事業
- ・その他目的を達成するために必要な事業

◆入会金及び年会費

- ・入会金 会員 (個人なし、団体 5,000円)
賛助会員(個人なし、団体 5,000円)
- ・年会費 会員 (個人 5,000円、団体 10,000円)
賛助会員(個人 1口 3,000円
団体 1口 5,000円) 1口以上

◆現在の会員・賛助会員

- ・会員 23(団体 1、個人 22)
- ・賛助会員 38(団体 2、個人 36)

事務局から

足紋を採取された方にアンケート調査を実施しましたが、殆どの方が「足紋」という言葉を初めて聞いたと答えています。依然として「足紋」の認知度が低いことが確認されました。

また、“足紋を採取すること”に「気にならない」「あまり気にならない」と答えた方が98%、“災害や事故などに備えて足紋を登録すること”に「登録する」「多分登録する」と答えた方が75%を占めました。足紋の採取、登録に抵抗感がないことが確認されました。

今年の「ぼうさいこくたい2022」は神戸市内で開催されましたが、来年秋は横浜市内で開催されます。当協会も出展して「足紋採取会」を実施したいと思います。

「足紋」は、ご家族の安心の一助となっていることを認識して「足紋採取会」「講演会」をはじめSNSなどを通じて、「足紋」の普及活動に努めて行きたいと思っております。皆様方のご協力をお願い申し上げます。



〈発行〉
特定非営利活動法人 全国足紋普及協会
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-7-10 三栄ビル
電話 03-3298-2300
HP <https://www.sokumon.com>
E-mail jimukyoku@sokumon.com

【令和4年度全国足紋普及協会通常総会の開催】



通常総会の開催状況

旨の理事長挨拶がありました。その後、日本市民安全学会石附弘会長からの祝電が披露され、稲葉理事長を議長に選出して議案審議に移りました。

◆第1号議案

令和3年度事業報告

◆第2号議案

令和3年度活動計算書報告及び監査結果

◆第3号議案

令和4年度事業計画書(案)

◆第4号議案

令和4年度活動予算書(案)

については、審議した結果、異議はなく全て原案どおり承認されました。

その後、議事録署名人の選出が行われ、光眞理事、山本理事を選出し、異議はなく2名が議事録署名人として承認されました。

続いて、山本事務局長が“閉会の辞”を述べ、令和4年度全国足紋普及協会通常総会を終了しました



挨拶する稲葉光彦理事長



事業報告などの説明をする光眞理事



「足紋」シンボルマーク SOKUMON

「足紋」という言葉を初めて聞いた方も多いと思います。このシンボルマークは、?マークと足裏と足紋を表現するとともに、広く「足紋」の普及(採取)をお願いする意味からお辞儀をして

るイメージも表現しています。また、「足紋」が身元確認に有効であることや足紋普及活動を世界で最初に取り組んだのが当法人であることから我が国の国旗「日の丸」を取り入れました。

あなたの「足紋」を採ってみませんか？

足紋(そくもん)は、指紋と同じで一人一人異なり(万人不同)、生涯変わり(終生不変)ません。その特性から「自分であることを証明する科学的根拠になります。地震などの災害や事故はもとより、海外で思わぬ事故・事件に巻き込まれた時や認知症徘徊などでも身元確認の有効な手段になります。

万一の事態に備え、採取して保管しましょう!

足紋採取会

令和4年 10/15(土)▶16(日)
両日共 10:00~18:00
会場 JR鴻巣駅 エルミこうのすショッピングモール

ご家族でおいでください
無料です!!

そくもんとは

足紋は、ヒトの皮膚紋理です。終生不変、万人不同の特性があり、指紋と同様、個人識別の科学的根拠となる「神が削った大傑作」です。身元確認の科学的な方法として、①指紋、②DNA、③顔形の鑑定がありますが、いずれの方法も完全ではありません。身体特徴だけに頼ると、東日本大震災や海外の海難事故などの例のように、犠牲者の取り違えや身元不明のまま遺族に引きとられない不幸な事態が起きます。足紋があれば、数分かつ短時間で個人識別鑑定ができます。一方、個人情報はあくまでも利用される心配はありません。「想定外が通用しない」時代です。備えあれば憂いなし、生涯一度採取しておけばいいことなのです。保管はどりあえファミリー(家族同士)でいかがでしょうか。



阪神淡路大震災から27年
未来につながる災害の経験と教訓
忘れないうちに足紋の採取と教訓

NPO法人 全国足紋普及協会
NECソリューションイノベータ

「足紋採取会」を実施しました。

“いしかわ観光物産展”
埼玉県鴻巣市

足紋採取会

令和4年 10/15(土)▶16(日)
両日共 10:00~18:00
会場 エルミこうのすショッピングモール

令和4年10月15日(土)、16日(日)の両日、JR鴻巣駅前エルミこうのすショッピングモールで開催された“いしかわ観光物産展”の一隅で「足紋採取会」を実施しました。

2日間で地域の方々約70名の方に足紋採取を体験していただきました。足紋採取を体験された方から、「足紋が身元確認に有効であることを初めて知りました」、「首都直下地震の発生が懸念されますが、事前に足紋を採取しておくことは重要だと思います」などのご意見をいただきました。

「足紋採取会」には、当協会から光眞理事、山本事務局長が参加するとともに、NECソリューションイノベータ様のご協力をいただきました。

“ぼうさいこくたい 2022”
兵庫県神戸市

足紋採取会

令和4年 10/22(土)▶23(日)
10:00~18:00 10:00~15:30
会場 JICA関西

令和4年10月22日(土)、23日(日)の2日間、兵庫県神戸市内のJICA関西において開催された“ぼうさいこくたい 2022”〔主催～防災推進国民大会 2022 実行委員会(内閣府など)〕に出展して「足紋採取会」を実施しました。

2日間で行政関係者や報道関係者、地域の方々など約300名の方がブースを訪れ、大勢の方に足紋採取を体験していただきました。足紋採取を体験された方から、「個人識別に活用できる足紋について初めて知りました」、「大震災などに備えて事前に足紋を採取しておくことは良いことだと思います」、「指紋は嫌だが足紋には抵抗感がありませんでした」などの感想が寄せられました。

その他、出展していた防災関係者、防災関係NPO団体をはじめ、地元の報道関係者、自治体関係者にも「足紋」に関する資料を配布するなどして「足紋」の普及啓発活動に努めました。

今回の「足紋採取会」には、当協会から光眞理事、山本事務局長が参加するとともに、NECソリューションイノベータ様のご協力をいただきました。



足紋採取状況 (NECのスクナーで採取)



足紋の特徴点などを説明して「足紋証明書」を足紋採取者に交付



光眞理事(左端)、山本事務局長(右端)とご協力いただいたNEC関連会社の方々

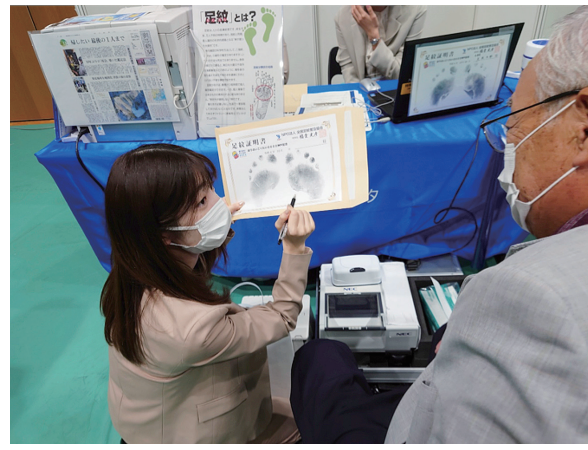


「足紋」を採取している状況(足をスクナーに載せるだけです!)

内閣府
HYOGO・KOBЕ 2022
ぼうさいこくたい
未来につなぐ災害の経験と教訓
~忘れない、伝える、活かす、備える~
同時開催 ALL HAT ひょうご 防災フェスタ 2022
令和4年 第7回防災推進国民大会 2022 in 兵庫 参加無料
10/22(土) 10:00~18:00 10/23(日) 10:00~15:30
開催場所 兵庫県神戸市のHAT神戸を中心とするエリア
開催形式 オンライン併用のハイブリッド形式
詳しくはWEBサイトで! ぼうさいこくたい Q検索



光眞理事(中央)、山本事務局長(同左隣)とご協力いただいたNEC関連会社の方々



「足紋」の個人識別の優位性などを説明して「足紋証明書」を交付している状況

日本市民安全学会が採取キットで「足紋証明書」制作

本年9月、日本市民安全学会で、当協会が足紋普及の推進を目的に試作した「足紋採取キット」(1セット 頒価 500 円)を活用して、足紋を自己採取しました。会員の皆様から「意外と簡単に採れる」と概ね好評で、当協会が考案したデザインの「足紋証明書」を複数枚制作し、「万一の事態」に備えて、ご家族らと分散して自主保管されています。「足紋採取キット」は、試作段階であります。個人で500円、家族で1,000円程度の実費で頒布できるようにしたいと開発を進めています。

「ぼうさいこくたい2022」での一場面!

「ぼうさいこくたい 2022」2日目開場直後のことです。お子様の手を引きながらご家族4人で現れた若い母親は、「ここが足紋を採るところですか?」と「足紋採取会」のブースを訪れました。今日は「家族全員の足紋を採ることが目的で来場した」との事でした。足紋を知った理由を尋ねると、「ぼうさいこくたい2022」のホームページに「足紋」

が身元特定に有効だと記載されていました。それを見て、もしもに備えるために家族全員の「足紋」を取ろうと真っ先にここに来ました」と話されました。若い母親は、ご家族4人の足紋を採取して「足紋証明書」を受け取るや「これで万が一何かあってもお家に帰れるね!良かったね!」と笑顔でお子様とご主人に語りかけて安堵した表情でブースを後にしました。「足紋」が、ご家族の安心の一助となっていることが認識できた一場面でした。